

Annual Report 2015

年間活動報告書
2015.4.1-2016.3.31



Visual Industry Promotion Organization
特定非営利活動法人 映像産業振興機構



〒104-0045
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル 2F
TEL : 03-3543-7531
FAX : 03-3543-7533
URL : <http://www.vipo.or.jp/>

編集・発行
特定非営利活動法人映像産業振興機構
2016年6月21日発行



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C004514



この紙は、適切に管理された森林の木材から作されました。
また、インクは一部に植物油を使用して揮発性有機化合物の発生を抑えた「VEGETABLE OIL INK」を使用し、有害廃液を排出しない「水なし印刷」を採用しています。



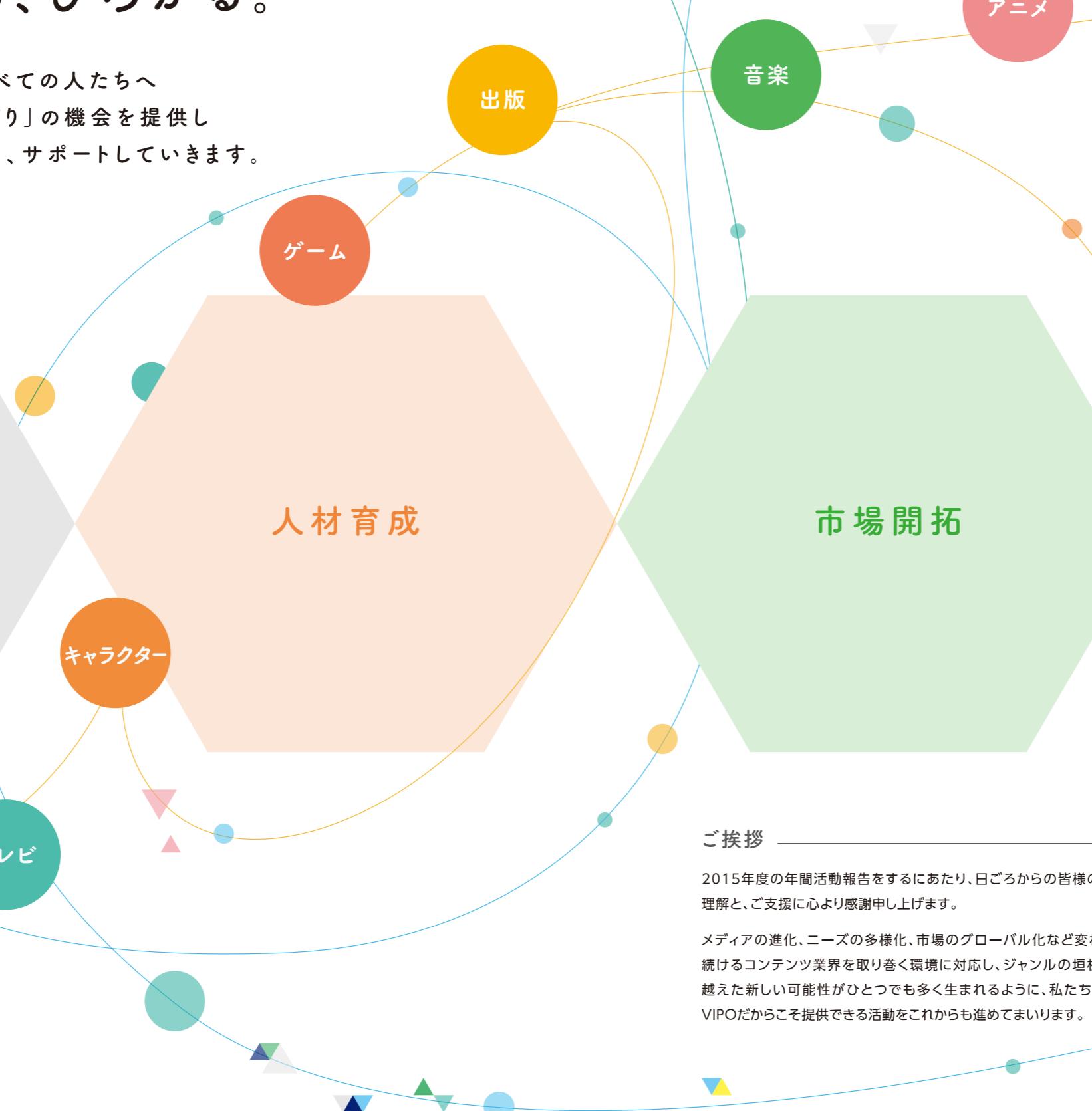
コンテンツの未来へ、つながる、ひろがる。

コンテンツ業界に関わるすべての人たちへ
VIPOは、「まなび」「つながり」の機会を提供し
ビジネスの輪がひろがるよう、サポートしていきます。

VIPOの 2つの事業テーマ

人材育成

市場開拓



VIPOは、日本のコンテンツ産業を国際競争力あるものとし、さらには日本経済の活性化に寄与することを目的に、2004年に設立された組織です。

「人材育成」と「市場開拓」を柱に、業界のジャンルを越えたネットワーキングや人材育成、国内外の市場開拓・整備等を行っています。

ご挨拶

2015年度の年間活動報告をするにあたり、日ごろからの皆様のご理解と、ご支援に心より感謝申し上げます。

メディアの進化、ニーズの多様化、市場のグローバル化など変わり続けるコンテンツ業界を取り巻く環境に対応し、ジャンルの垣根を越えた新しい可能性がひとつでも多く生まれるように、私たちは、VIPOだからこそ提供できる活動をこれからも進めてまいります。



理事長 松谷孝征



事務局長 市井三衛

INDEX

- P03 VIPO設立の経緯・組織図
P04 VIPO会員社

▶ 人材育成事業

- P05-06 ndjc:若手映画作家育成プロジェクト

- P07-09 VIPOアカデミー

- P10 ビジネスセミナー

- P18 Creative KYOTO
クリエーター育成事業

- P18 京都クロスマディア
海外展開ネットワーク化事業

▶ 市場開拓事業

- P10 ビジネスセミナー

- P11-12 コ・フェスタ
JAPAN国際コンテンツ
フェスティバル

- P13 ジャパン・コンテンツ
ローカライズ&
プロモーション支援助成金
(J-LOP)

- P14-15 地域経済活性化に資する
放送コンテンツ等
海外展開支援事業費補助金
(J-LOP+)

- P16 地域発コンテンツ
海外流通基盤整備事業費補助金

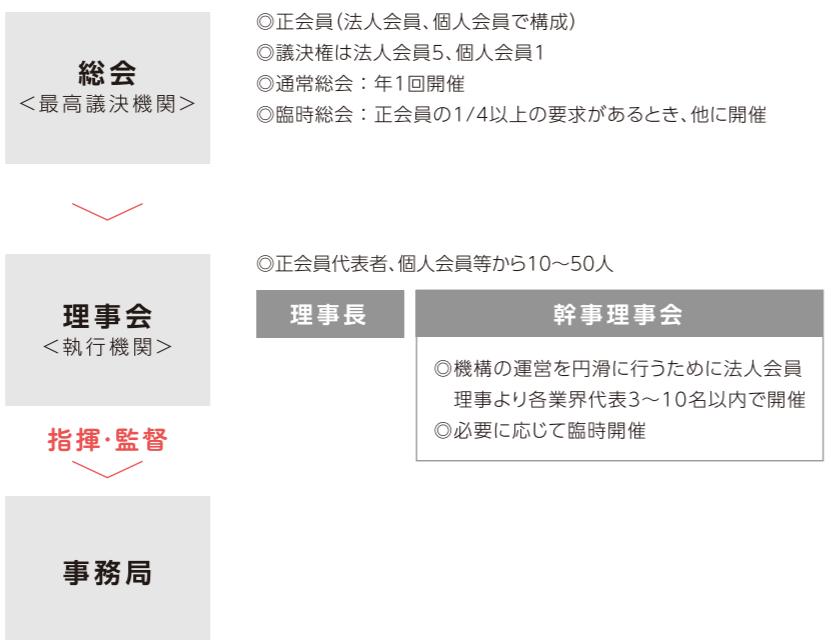
- P17 京都国際マンガ・アニメフェア
(京まふ) 2015

- P18 ロケスポット京都

△ 設立の経緯

- 01 2004年3月の日本経済団体連合会の提言「『知的財産推進計画』の改訂に向けて」において、映像産業全般の振興を推進する機関の設置を提言。
- 02 政府「知的財産推進計画2004(2004年5月27日・知的財産戦略本部決定)の中に、2004年度に「映像産業振興機関の設立」を支援することが明記。
- 03 6月より経団連 エンターテインメント・コンテンツ産業部会(人材育成分科会)で検討を開始するとともに、日本映画製作者連盟、日本民間放送連盟、日本動画協会等と連絡をとりつつ実務的検討を進める。また内閣官房知財推進本部、総務省、文部科学省、経済産業省、関係自治体とも調整。
- 04 11月、映像産業関連事業者を中心とする設立準備委員会を立ち上げ、同機構の事業内容等について詳細を固めた上で12月6日に設立総会を開催。
- 05 その後直ちに内閣府にNPO法人の申請を行い、2005年6月、認証。

△ 組織図



総会・理事会・幹事理事会 開催実績

総会	幹事理事会
平成27年6月22日	第31回幹事理事会 平成27年4月8日
	第32回幹事理事会 平成27年6月8日
	第33回幹事理事会 平成27年10月16日
	第34回幹事理事会 平成28年3月31日

理事会	
第29回理事会 平成27年6月8日	
第30回理事会 平成27年6月22日	
第31回理事会 平成27年12月8日	

△ VIPO 会員社 (五十音順)

● … 2015年度新規会員

【法人会員】	株式会社第一興商	株式会社バップ
株式会社秋田放送	高津装飾美術株式会社	ぴあ株式会社
株式会社アサツーディ・ケイ	● 株式会社W media	株式会社フジテレビジョン
アメリカン・モーション・ピクチャ・アソシエーション・オブ・ジャパン	● 有限会社ティーアイ・コムネット	富士フィルム株式会社
株式会社IMAGICA	株式会社TBSテレビ	プロードメディア・スタジオ株式会社
株式会社イマジカデジタルスケープ	株式会社ティーウェイリミテッド	ホクエツ印刷株式会社
株式会社インジェスター	株式会社デジタルSKIPステーション	株式会社ポニー・キャニオン
一般社団法人映画産業団体連合会	株式会社手塚プロダクション	株式会社ホリプロ
一般社団法人衛星放送協会	株式会社テレビ朝日	武蔵野興業株式会社
公益社団法人映像文化製作者連盟	株式会社テレビ東京	ユニバーサルミュージック合同会社
エイベックス・ピクチャーズ株式会社	株式会社電通	吉本興業株式会社
株式会社エスピーオー	東映株式会社	讀賣テレビ放送株式会社
株式会社NHKエンタープライズ	東映アニメーション株式会社	琉球放送株式会社
大蔵映画株式会社	東映ラボ・テック株式会社	株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
一般社団法人外国映画輸入配給協会	● TOKYO DESIGN WEEK株式会社	株式会社WOWOW
株式会社KADOKAWA	東宝株式会社	
株式会社カプコン	学校法人東放学園 東放学園専門学校	【賛助会員】
株式会社キネマ旬報社	東宝東和株式会社	鹿島建設株式会社
株式会社キノフィルムズ	株式会社東北新社	株式会社きんでん東京本社
ギャガ株式会社	● 株式会社トーセ	スカパーJSAT株式会社
キヤノン株式会社	株式会社トーホー	ソニー株式会社
キングレコード株式会社	株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ	高砂熱学工業株式会社
株式会社クオラス	株式会社ドリーミュージック・	株式会社東芝
株式会社クリーク・アンド・リバー社	中日本興業株式会社	トヨタ自動車株式会社
● 株式会社コーエーテクモゲームス	名古屋テレビ放送株式会社	日本電信電話株式会社
コダック合同会社	日活株式会社	パナソニック株式会社
● 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会	株式会社日経BP	株式会社みずほ銀行
コンテンツ・ポータルサイト運営協議会	日本アカデミー賞協会	三井不動産株式会社
一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会	● 日本アニメーション株式会社	森ビル株式会社
埼玉県彩の国ピクチャーブラザ	協同組合日本映画製作者協会	合計104社・団体(個人会員除く)
● 株式会社サンリオ	一般社団法人日本映画製作者連盟	
松竹株式会社	一般社団法人日本映画テレビ技術協会	
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	一般社団法人日本映像ソフト協会	
セガサミーホールディングス株式会社	日本コロムビア株式会社	
全国興行生活衛生同業組合連合会	日本テレビ放送網株式会社	
一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟	一般社団法人日本動画協会	
● 株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント	一般社団法人日本民間放送連盟	
● 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	一般社団法人日本レコード協会	
ソニーPCL株式会社	株式会社博報堂	



10年間で、52名の作家が製作実地研修に参加。 ここから長編映画監督が続々と誕生しています。

文化庁の委託を受けて2006年度よりスタートした「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」。優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップや製作実地研修を実施すると同時に、作品発表の場を提供することで、次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目指しています。

若手映画作家にとっては、プロのスタッフの指導の下、35mm

フィルムでオリジナル脚本の短編映画作品を制作するチャンスとなり、完成した作品は、映画業界関係者向けの合評上映会だけでなく一般公開もされるため、広く作品を披露する機会にもなります。本プロジェクトは、2015年度までに数多くの映画作家が参加し、卒業監督による商業長編映画が劇場公開されるなど、着実に成果を上げています。

Pick Up

若手監督の登竜門！「新藤兼人賞」で、ndjc参加監督が金銀独占！
その他、数々のアワードを受賞。

岨手由貴子監督(ndjc2009)

『グッド・ストライプス』(2015年公開)
・第20回 新藤兼人賞 金賞
・第7回 TAMA映画賞 最優秀新進監督賞 など

松永大司監督(ndjc2010)

『トイレのピエタ』(2015年公開)
・第20回 新藤兼人賞 銀賞
・第56回 日本映画監督協会新人賞
・第25回 日本映画批評家大賞 新人監督賞
・千葉市芸術文化新人賞 など

小林達夫監督(ndjc2012)

『合葬』(2015年公開)
・第39回 モントリオール世界映画祭
ワールド・コンペティション部門正式出品
・京都市芸術新人賞 など

ndjc2015実施概要

- 5月 作家の公募
・映画関係団体等から推薦された作家の中から、ワークショップ参加作家を決定
- 6月
- 7月 ワークショップ
・同一の条件下で、共通のテーマに沿った完成尺5分以内の作品を制作
- 8月
- 9月
- 10月 製作実地研修
・35mmフィルム撮影による25分以上30分以内の短編映画を制作
(脚本開発～撮影～仕上げ～完成)
- 11月
- 12月
- 1月 合評上映会・講評会
・主要都市での映画関係者、一般モニター等を対象とした合評上映会
- 2月
・講評会を実施し、作家へフィードバック
・東京、大阪で一般向け劇場公開
- 3月
・脚本指導講評会



ワークショップ



製作実地研修

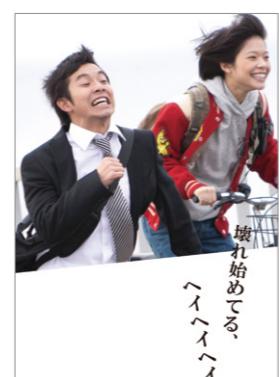


作品講評会



一般向け劇場公開

ndjc2015 製作実地研修参加作家と完成作品



監督 佐藤快磨
『壊れ始めてる、ハイハイハイ』

[作家推薦団体]
SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ
[制作プロダクション]
アスマック・エース
[出演]太賀、岸井ゆきの、牧田哲也



監督 ふくだももこ
『父の結婚』

[作家推薦団体]
日本映画大学
[制作プロダクション]
ブースタープロジェクト
[出演]ソニン、板尾創路、山中崇



監督 藤井悠輔
『罪とバス』

[作家推薦団体]
ショートショート実行委員会
[制作プロダクション]
東映東京撮影所
[出演]阿部進之介、渡辺大、中川可菜



監督 堀江貴大
『はなくじらちち』

[作家推薦団体]
TAMA映画フォーラム実行委員会
[制作プロダクション]
東宝映画
[出演]森下能幸、黒川芽以、尻川アトム



©2016 VIVO

Topics

- トークイベント付上映「映画監督のつくり方 in ヨーロスペース」を2夜限定開催
- P-LABO映画祭2015「ndjc2015☆ワークショップ☆BEST SELECTION」で、ワークショップ制作短編作品(5分)上映
- BSスカパー「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト作品特集」で、完成45作品を放送中
- ndjc2014参加作家5名が、オムニバス映画を制作するために再結集、「FILM FIVEプロジェクト」始動

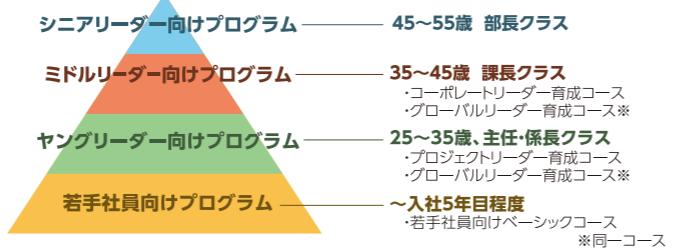
VIPOアカデミー

自主事業

コンテンツ業界のリーダー育成を目的として、業界に最適化された独自の教育プログラムを提供する人材育成事業

ビジネススキルの習得だけでなく、ジャンルを超えて共に学んだ受講者によるネットワークは新しいビジネスへのきっかけになっています。

今年度にスタートしたコンテンツ業界のリーダー育成を目的とした人材育成事業。数ある教育プログラムの中から、業界に向けてカスタマイズしたプログラムを実施しています。経営幹部人材を育成する「コーポレートリーダー育成コース」と、現場のマネジメント力を強化する「プロジェクトリーダー育成コース」は、これまでに34社56名の優秀なリーダーが受講し、スキルアップや受講者同士のネットワーク構築に加え、会社間のコラボレーションのきっかけの場となっています。入社5年目程度の社員を



対象に業界動向などを研究する「若手社員向けベーシックコース」は、49社201名(延べ人数)が受講し、コンテンツ業界各ジャンルの知識を横断的に得ることができるプログラムとなっています。業界のグローバルリーダーに必要とされるコミュニケーション力、ビジネス力を養う「グローバルリーダー育成コース」は6社の参加があり、業界特有のビジネスシーンを想定した英語でのコミュニケーション演習など実施しました。(参加数は2016年3月31日時点)。



ケーススタディや演習、ディスカッションを多く取り入れたアウトプット重視の内容。また、授業で学んだことを職場で実践する仕組みにより、知識・スキルの確実な定着を目指しました。



リーダーとしての視点・マインドの醸成を目的に、コンテンツ業界の経営者やプロデューサーをお招きし、キャリアやビジョン、成功体験・失敗談を伺いました。



業界各社の経営層から受講者の上司まで、多くの方にお集まりいただき、受講者から学び・成果を発表しました。

2015年度開講内容

コーポレートリーダー育成コース (ミドルリーダー向け)



今後のコンテンツ業界をけん引するミドルリーダーが、企業の成長・発展に寄与する経営幹部人材へと進化していくためのきっかけを提供する。

第1期 2015年5月14日～7月23日
第2期 2015年9月3日～12月10日
第3期 2016年1月9日～3月24日

目的

- ▶ 経営者の視点を養い、経営幹部になるために必要とされる経営スキルを身につける
- ▶ コーポレートリーダーとして必要なスキルを習得し、リーダーシップを最大限に引き出す
- ▶ 他社のリーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

プログラム

4つのプログラムを統合した、コンテンツ業界向けのオリジナルプログラム

- ① マネジメント・プログラム
- ② リーダーシップ・プログラム
- ③ コンテンツ業界経営者の講演とグループディスカッション
- ④ ビジネスプランニングとプレゼンテーション

プロジェクトリーダー育成コース (ヤングリーダー向け)



仕事のクオリティとスピードを両立させ、周囲を巻き込んでプロジェクトを成功に導くプロジェクトリーダーを育成する。

第1期 2016年1月24日～3月15日

目的

- ▶ プロジェクトリーダーになるために必要なビジネススキルを身につける
- ▶ 他社の若手リーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

プログラム

コンテンツ業界のプロジェクトリーダーに必要なスキル習得を目的としたオリジナルプログラム

- ① 企画力強化：ロジカルシンキング・発想力
- ② 推進力強化：プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、プレゼンテーション
- ③ プロジェクトリーダーによる講演とグループディスカッション
- ④ 目標設定と成果プレゼンテーション

若手社員向けベーシックコース (~入社5年目程度)



各ジャンルの最新の業界動向・展望と事例を学び、ジャンルを越えたコンテンツビジネスを開拓できる人材へと進化していくためのきっかけを提供する。

第1期 2016年1月20日～3月23日

目的

- ▶ コンテンツ業界の各ジャンルのビジネスを理解する
- ▶ コンテンツ業界の成功パターンを学ぶ
- ▶ 社外の同世代とのネットワークを構築する

プログラム

コンテンツ業界の各ジャンルを1日ずつ学ぶ若手社員を対象としたオリジナルプログラム(映画/テレビ/アニメ/音楽/ゲーム/出版/キャラクター/インターネット/海外展開の全9ジャンル)

- 第1部 (講演) 最新マーケット分析
業界各ジャンルの市場や展望および課題、ビジネスモデルなどを解説
- 第2部 (講演) 事例紹介
社名や作品名を挙げて、具体的な事例や取り組みの背景を解説
- 第3部 グループワーク

グローバルリーダー育成コース (ミドルリーダー/ヤングリーダー向け)



コンテンツ業界のグローバルリーダーに必要とされるコミュニケーション力、ビジネス力を養う。

第1期 2015年9月2日～12月16日

目的

- ▶ グローバルでのコミュニケーション力及びビジネス力を向上させる
- ▶ 他社、および外国人消費者とのネットワークを構築する

プログラム

- ▶ グローバルコミュニケーション演習
異文化コミュニケーション
商談・交渉力
社交力・プレゼンテーション

グローバルリーダーの講演

- ▶ グローバルビジネスプロジェクト
ビジネスプランニング
ビジネスプランのプレゼンテーション

各コースに参加した受講者の感想



**コーポレートリーダー育成コース
第1期受講**

永松 勇生 氏
東映株式会社
国際営業部 営業室 課長

40歳の夏、VIPOアカデミー1期生として学ばせていただきました。様々なケーススタディやグループディスカッションを通して、新しい知識や刺激を得ながら自分や会社を見つめ直す良い機会となりました。そして、業界の様々な会社の様々な部署の方々と密度の濃い時間を過ごすことができたことは何よりの財産です。その後、VIPOアカデミーで得られた業界人脈を生かし、新しいビジネスの創出に取り組んでいます!



**コーポレートリーダー育成コース
第3期受講**

青木 隆氏
株式会社サンリオ
メディア部 キャラクター戦略第2課
シニアマネージャー

2ヶ月半のアカデミーの講座ではすぐに実践できるようなヒントをもらい、私自身の意識の変革や、部下や周りのメンバーに対しての態度・言動などをより工夫することで、チームのレベルアップにつながっている感じています。また他社の参加者と頻繁に意見交換したこともあり、今後のビジネス上でのネットワークを構築できました。私にとっては今後自社での役割を再認識できたよい機会だと感じ、また特に「人を活かす」視点やスキルを体得できたことが大きな収穫でした。



**プロジェクトリーダー育成コース
第1期受講**

福田 憲弘 氏
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
ストラテジック本部 ビジネスディベロップメントグループ
プロデューサー

セミナー受講に対しては、これまでやや懐疑的で“先輩から盗む”ことに軸を置いていたのですが、今回受講し「学ぶ」との重要性を初めて知りました。音楽業界は個々の感性を尊重する文化があるのですが、対局にある論理的思考は、精度の高い企画や進行計画を立てる際に有益であることを気づかせてくれました。現在は学びを実践しながら、自社および業界に影響を与えていく人材になれるよう、さらに学びを深めております。



**若手社員向けベーシックコース
第1期受講**

朴 スルギ 氏
株式会社テレビ東京
コンテンツビジネス局 ビジネス開発部

ベーシックコースを受講して、一番の収穫はより幅広い視野で仕事を進めるきっかけとなったことです。同じコンテンツ業界の中でも今まで全く知識が無かった分野に関して、基礎から最近の動向までの情報が得られ、今までとは違う観点からも仕事を考えるようになりました。また、コンテンツ業界の最前線で活躍されている先輩方のお話しは、講義を受けてからすぐ応用できる情報が満載で、大変勉強になりました。

MESSAGE

事業担当者より

今年度にスタートしたVIPOアカデミーは無事に1年を終えることができました。構想時、また開講後も常に様々なご意見をいただきながら、コースのラインナップを増やしてまいりました。様々なジャンルからの受講者が積極的に発言し、時には納得がいくまで意見交換したり、成果発表会に向けて就業後や休日に集まり何時間もビジネスプランを話し合うなど、熱心に取り組む姿勢が印象に残っています。また、卒業後もお互いの会社の展示会やイベントに行き来したり、VIPOアカデミーをきっかけに新しいビジネスを生み出すなど交流を深めているようです。私達スタッフも、業界の発展に貢献できるよう、より一層努力してまいります。



中嶋 陸美 中村 雄介 粕飯原 計胤

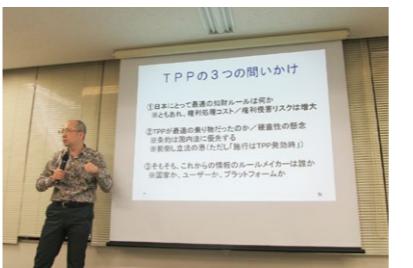
コンテンツ業界向け ビジネスセミナー

(2015年度実施セミナー)

自主事業

VIPOでは、コンテンツ業界の皆様の関心の高いトピックスについて、人材育成や市場開拓の分野を中心に、様々なセミナーやシンポジウム等を開催しています。

[2.3月]TPPで変わる著作権とビジネス慣行 ~今後5年間で何を準備すべきか?~



著作権法を専門分野とする福井健策弁護士を講師に迎え、TPP知財条項についてやコンテンツ業界が今後5年で準備すべきこと等を中心にTPPで変わる著作権とビジネス慣行について学ぶセミナーを開催。映画や放送などの映像関連企業を中心に、音楽やアニメ等様々なジャンルの事業者(約150名)にご参加いただきました。

項目
・TPP知財条項について
・コンテンツ業界が今後5年で準備すべきこと
講師
弁護士(日本・ニューヨーク州)/日本大学藝術学部 客員教授 福井健策 氏

[1月]コンテンツ業界 インバウンド・シンポジウム Vol.1



城西国際大学メディア学部協力のもと、コンテンツ業界初のインバウンド需要について意見交換するシンポジウムを開催。コンテンツ関連企業の他、旅行観光業の方等約200名にご参加を頂きました。

第1部 基調講演
訪日3,000万人時代到来!インバウンド施策

第2部 パネルディスカッション
コンテンツ業界はインバウンド需要をマネタイズできるか?

モデレーター:山下真輝 氏
スピーカー(50音順):
・石川貴浩 氏(株式会社ダイヤモンドダイニング
法人営業・インバウンド部長)
・岡崎哲也 氏(松竹株式会社 常務取締役)
・中川悠介 氏(アソシエーション株式会社 代表取締役)
・村上徹夫 氏(株式会社テレビ東京 制作局CP制作チーム 副参事)

[12月]ローカライズ企業ビジネスマッチング



エンターテインメント・コンテンツ業界の事業者と、コンテンツの翻訳・編集・カルチャーライズ等を行うローカライズ企業が知りあう機会を創出する「ローカライズ企業ビジネスマッチング」を開催。12のローカライズ企業に参加いただき、約40名の事業者にご来場いただきました。

参加ローカライズ企業(50音順)
株式会社アクティブゲーミングメディア、IMAGICAxSDI Media、株式会社インジエスター、株式会社エフエフ東放、株式会社エムース インターナショナル、株式会社AWESOME JAPAN、DICO株式会社、株式会社ニュージャパンフィルム、株式会社 フォアクロス、ブレインウッド株式会社、株式会社 ウィズ・インフィニティ、Wowmax Media合同会社

MPTE 第22回勉強会 [10月]CM制作のプロフェッショナルに聞く「ドローン最新情報!」~どのようにリスクを減らすか~



ドローンに関するリスクやレギュレーションを含めた最新情報について、無線ヘリコプターや飛行機操縦のプロフェッショナルであり、かつCM等の制作で実際に活用されている株式会社東北新社の宮下俊氏にお話しいただきました。

講師
株式会社東北新社 常務執行役員 CM統括本部長 宮下俊 氏
主催

一般社団法人日本映画テレビ技術協会(MPTE)

協力
特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)



CoFesta 2015

コ・フェスタ JAPAN国際コンテンツ フェスティバル

経済産業省 委託事業

コンテンツと親和性の高い産業に関わる
各種イベントを効果的に海外へ発信するための
海外発信力強化支援プロジェクト

日本が誇るコンテンツの魅力を 効果的に海外に発信。

「コ・フェスタ」は、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントを効果的に海外へ発信するための海外発信力強化支援プロジェクトです。日本が誇るコンテンツの魅力を発信することによって、日本ブームを創出することを目的としています。

実施概要

コ・フェスタ2015では、14のコア／オフィシャルイベントをはじめとする多種多様なイベントへ国内外より広く多くの方にご来場いただくとともに、業界の垣根を越えた交流やビジネス展開を促進しています。中でも、日本のコンテンツファンである外国人留学生を中心に組織された「コ・フェスタ アンバサダー」が、より積極的に各イベントを取材するなど、日本コンテンツに直に触れる機会を増やしました。また、日本コンテンツ関係者と意見交換を行い、海外発信力の向上へ貢献しました。

コ・フェスタの情報は、オフィシャルHP、コ・フェスタ アンバサダー公式facebookページ、「JAPACON」ウェブサイトで発信しました。



コ・フェスタ アンバサダー
facebook



● コアイベント一覧

東京ゲームショウ2015

TOKYO
GAME
SHOW
2015

第28回東京国際映画祭

TOKYO
FILM
FESTIVAL
10.22-31

AnimeJapan 2016

AnimeJapan
2016

Japan Content Showcase 2015

第12回東京国際
ミュージックマーケット

TIMM
2015 TOKYO INTERNATIONAL MUSIC MARKET

TIFFCOM 2015
for Film & TV in Asia

TIFFCOM
Marketplace for Film & TV in Asia

東京国際
アニメ祭2015

Tokyo
International
Anime
Festival



コ・フェスタ アンバサダー

コ・フェスタ イベントや日本のコンテンツをより多くの海外消費者にアピールするために、日本コンテンツファンである世界41カ国・地域からの留学生、211名（海外在住10名含む）が「コ・フェスタ アンバサダー」として活動しました。コ・フェスタ イベントの取材などを通じて、多くの日本コンテンツに触れ、SNSでの情報発信やコンテンツ関係者との意見交換、また、イベント運営への協力や自国の市場・消費者調査など、様々な形で日本のコンテンツを海外に発信しています。

● コ・フェスタ アンバサダー出身国（2016年3月現在）

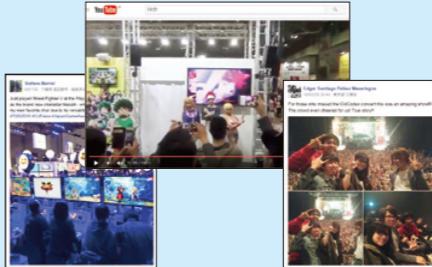
東アジア	韓国、台湾、中国、香港	北米	アメリカ合衆国、カナダ
東南アジア	インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア	中南米	コロンビア、ブラジル、ペルー、メキシコ
その他アジア	インド、カザフスタン、キルギス、スリランカ、ネパール、パキスタン	アフリカ	ウガンダ、エジプト、ケニア、ナイジェリア
欧州	イギリス、イタリア、オーストリア、ジョージア、スウェーデン、スペイン、ドイツ、フランス、ブルガリア、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア	オセアニア	オーストラリア
		中東	ヨルダン

● 主な活動概要

- ▶ イベント支援（多言語対応スタッフ派遣、ガイドツアー協力等）
- ▶ イベントツアー実施とSNSでの情報発信
- ▶ 海外インフルエンサー招聘
- ▶ 海外市場・消費者・トレンド調査協力
- ▶ プレゼンテーション大会

● 日本コンテンツの魅力を、SNSで発信！

アンバサダーの中には、
SNSで多くのフォロワーをもつ
インフルエンサーも在籍。
様々なイベントで触れた
日本コンテンツの魅力を、
ツイッターやfacebook等で
発信しています。



「TOKYO GAME SHOW 2015」にて



「Anime Japan2016」にて



「第28回 東京国際映画祭」にて

● オフィシャルイベント一覧

KYOTO CMEX 2015



第42回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

JAPAN PRIZE 2015

INTERNATIONAL CONTEST FOR EDUCATIONAL MEDIA

マンガフェスティバル in タイランド



CEATEC JAPAN 2015



国際ドラマフェスティバル
in TOKYO 2015

DRAMA FES
2015

Mercedes-Benz
Fashion Week TOKYO 2016 S/S



デジタルコンテンツ EXPO 2015



Inter BEE 2015



● パートナーイベント一覧

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015

キネコ国際映画祭2015

第37回 PFFぴあフィルムフェスティバル

京都国際マンガ・アニメフェア2015

LA EigaFest 2015

吉祥寺アニメワールド2015

2015きものサローネ in 日本橋

MPTE AWARDS 2015

Tokyo Docs 2015

TOKYO DESIGN WEEK 2015

第7回京都ヒストリカル映画祭

第19回文化庁メディア芸術祭

第6回 映文連 国際短編映像祭
「映文連アワード2015」

第19回文化庁メディア芸術祭

市場開拓



ジャパン・コンテンツ ローカライズ& プロモーション 支援助成金

経済産業省・総務省 補助事業

日本コンテンツの海外展開のための「ローカライズ」「プロモーション」を支援する助成金
(事業期間は2013年3月から2016年3月まで)

コンテンツを介した日本の魅力の効果的な発信をめざし、3,815件の事業を採択。

採択件数 **3,815件**

交付決定事業者数
ローカライズ支援 プロモーション支援
▶ 243社・団体 ▶ 519社・団体

経済産業省と総務省の平成24年度補正予算により設立された基金(約155億円)を活用し、映画・テレビ番組・アニメといった映像コンテンツやキャラクターなど助成対象となる日本のコンテンツに対し、海外展開に必要な「ローカライズ」(字幕や吹替えなど)や「プロモーション」(国際見本市への出展やPRイベント実施など)への支援等、海外発信に対する総合的な支援を実施することにより、日本ブーム創出に伴う関連産業の海外展開の拡大、観光等の促進につなげることを目的とした助成金です。

主な活動概要

▶ 採択した全案件について、事業検査、経理検査、助成額の確定作業、および助成金の支払いを実施。

J-LOP 活用事例

採択事業の中から一部の活用事例をご紹介

1.ローカライズ

「ドラえもん」
英国向け英語版の台本の翻訳や、
吹き替えなど
発信先:イギリスの大手キッズチャンネル
「Boomerang」<テレビ朝日>



「ウドちゃんの旅してゴメン」
楽曲差し替え
発信国:シンガポール
<名古屋テレビ>



2.プロモーション

モントリオール世界映画祭
2014年8月から9月にかけて開催されたモントリオール世界映画祭にて、女優の吉永小百合さんが主演に加えて、初プロデュースを手掛けた「ふしぎな岬の物語」がワールドコンペティション部門に出品され、吉永小百合さん、阿部寛さんがレッドカーペットに登場し、世界に向けて本作品をアピールした。
<東映>



市場開拓



地域経済活性化に 資する放送コンテンツ等 海外展開支援事業費 補助金

経済産業省 補助事業

映像・ゲーム・出版・音楽・
キャラクターを用いた
海外展開を行う事業を支援。

採択件数
855件

交付決定事業者数
419社・団体

主な活動概要

▶ 申請を検討する事業について相談を受ける「個別相談会」、「サービスデスク」を毎週開催。

▶ 助成金の対象や申請方法などを紹介する「一般説明会」を毎月定期的に開催するほか、各経済産業局と共に宮城・富山・香川・岡山など9か所において「地方説明会」を開催。また、9地方自治体・団体、および15業界団体向けにも説明会を実施。

▶ 採択した全案件について、事業検査、経理検査、助成額の確定作業、および助成金の支払いを実施。

▶ 海外イベント主催者とイベント参加希望者とのマッチングイベントとして、日本のコンテンツに関する海外の「イベント」、「見本市」、「コンベンション」等を紹介するJ-LOP+事務局主催の「海外イベント合同説明会&個別相談会」を2回開催。

海外イベント合同説明会

第1回 2015年5月

イギリス、タイ、インドネシア、シンガポール、イタリア、アメリカ、香港、ルーマニア、ドイツで開催される10イベント団体・主催者が説明を行い、延べ約500名の出展希望者が参加した。



第2回 2015年11月

アメリカ、カナダ、チリ、ブラジル、ペルー、オランダ、タイ、シンガポールで開催される12イベント団体・主催者が説明を行い、延べ約300名の出展希望者が参加した。



J-LOP+ 活用事例

採択事業の中から一部の活用事例をご紹介

1.ローカライズ

映像

大河ドラマ「花燃ゆ」
(第38~50話)

英語字幕制作・台本翻訳など

発信先:

テレビジャパン(アメリカ、カナダ)、
ハワイKIKUTV(アメリカ)、TTV(アメリカ)、
UTB(アメリカ)
<NHKエンタープライズ>



映像

「赤ひげ」

英語字幕・イタリア語字幕制作
出展先:ベネチア国際映画祭
<東宝>



ゲーム

「BRAVELY SECOND」

英語・フランス語・ドイツ語・
イタリア語・スペイン語への翻訳
配信先:ニンテンドーeショップ
<スクウェア・エニックス>



2.プロモーション

出版

香港ブックフェア2015

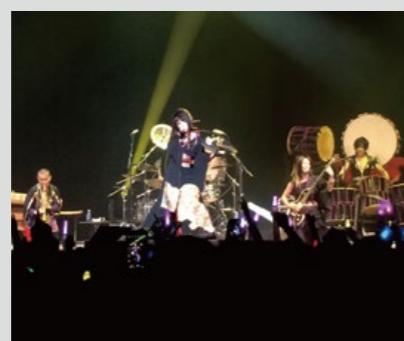
音楽

Anime Expo2015
LIMITED LIVE

キャラクター

ロンドンMCMコミコン

2015年7月に開催され、110万人以上が来場した「香港ブックフェア2015」に初出展し、現地で毎月発行している「香港ウォーカー」やアニメなどのプロモーションを行った。今年は初めて「ジャパンパビリオン」が設置され、中でも最も大きなブースとして、日本のお祭り(盆踊り、縁日)をテーマに、アニメ、雑誌コンテンツパネルを使った記念写真撮影スペースを設けるなどして会場を盛り上げた。
<KADOKAWA>



市場開拓

地域発 コンテンツ 海外流通基盤 整備事業費補助金

経済産業省 補助事業

経済産業省の平成27年度補正予算による「地域発コンテンツ海外流通基盤整備事業費補助金」(約66.9億円)を受け、

① 地域発コンテンツ等海外展開支援事業

②著作権の権利関係情報集約化事業

を実施するもので、地域発コンテンツ等の海外展開を促進し、
関連産業の海外展開の拡大、観光等の促進につなげることを目的としています。

① 地域発コンテンツ等海外展開支援事業 (J-LOP)



2016年2月より公募を開始し、地域発コンテンツ等の海外展開を行う際、以下の日本のコンテンツのローカライズおよびプロモーションを行う事業に対し、その費用負担を軽減するため、当該事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を補助するものです。事業者の利便性を高めるため、応募締切・採否通知を2週間毎に行い、補助金の支払日を月3回設けています。



映像

番組
映画
アニメなど



音楽

音楽配信
ライブなど



ゲーム

家庭用ゲーム
モバイルゲームなど



出版

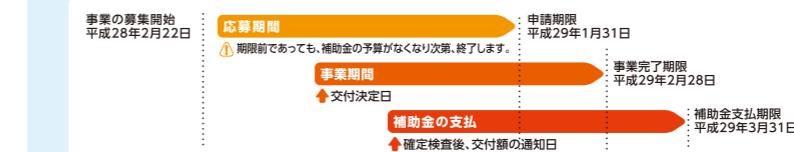
電子コミック
電子書籍など



キャラクター

マスコット
ゆるキャラなど

● 実施期間



主な活動概要

▶補助金の対象や申請方法などを紹介する「一般説明会」は、2016年3月末時点で500名以上の事業者が参加。

また、4月以降、宮城・富山・香川・愛知など9か所で経済産業省の各経済産業局と共催で「地方説明会」を開催。

▶2016年4月以降、申請を検討する事業について相談を受ける「個別相談会」を毎週開催。



京都国際マンガ・ アニメフェア (京まふ)2015

京都から世界に発信する
関西最大級のマンガ・アニメイベント

京都市 委託事業

第4回目の開催となる「京まふ」。
今年度もビジネスセミナー、
海外広報、記録映像制作を受託。

第4回目の開催となる
「京都国際マンガ・アニメフェア(通称:京まふ)2015」
において、引き続きビジネスセミナーの企画運営と海外広報、
記録映像の制作を受託しました。

ビジネスセミナー

『地方から世界へ発信!マンガ・アニメの地方企業最前線』と題しコンテンツ関連ビジネスに関心のある事業者を対象に開催。地方都市に拠点を置いて業界をリードしている企業の方をスピーカーとして招聘。地方起業の意義・メリット・成果を発表。パネルディスカッションではコンテンツにおける関西経済活性化の可能性について議論した。



海外広報

今年度は台湾を重点国として、新聞社の記者を招聘する他、8月に台北で開催された「台湾漫画博覧会」において、松谷孝征・京まふ実行委員長が出席し、お互いのイベントを相互PRする連携協定を締結。さらに提携記念として台湾在住のマンガ家志望者に日本でのプロデビューのきっかけを提供する「京まふ漫画賞」を新設。40作品の中から大賞を受賞したANTENNA牛魚さんを「京まふ」に招待し受賞式を行うとともに、「マンガ出張編集部」に原稿持込を行った結果、小学館の新青年コミック誌「ヒバナ」での連載が決定した。また、コ・フェスタ アンバサダーによる外国人向けツアーを実施しSNSによる情報発信を行った。



Creative KYOTO クリエーター 育成事業

京都府 委託事業

時代劇の拠点としての京都の優位性を活かし、人材育成、企画開発、制作支援等を通じて、クリエイティブに関わる人材の活動支援を実施します。

京都映画企画市

若手映画・映像製作者を対象に、京都府内での撮影を想定した時代劇ジャンルの作品を募集し、業界の一線で活躍する映画関係者などが応募企画を評価する「企画コンテスト」を開催。犬童一心監督はじめ映画プロデューサーが審査員として参加したプレゼン大会では、プロの目線や企画作りのノウハウを学ぶ機会を提供するとともに、書類選考を通過した6企画の中から『大江戸キャノンボール』(清水孝之監督)が優秀賞に選出された。優秀賞企画には350万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与され、東映株式会社京都撮影所の協力のもと撮影・制作が行われた。

京都映画企画市 Kyoto Film Pitching



京都フィルムメーカーZラボ

国内・海外の若手映像クリエーターを対象に、短編時代劇を製作するワークショップ『京都フィルムメーカーZラボ』を開催。『マスターズセッション』では殺陣講座等の9つのセッションを実施。世界18ヶ国から外国人27名、日本人13名の計40名の若手映画作家が参加し、内外のクリエーター間のネットワーク形成を支援した。



京都クロスマディア 海外展開 ネットワーク化事業

京都府 委託事業

クリエーターや事業者および企業内クリエーターに対し、海外展開を視野に入れた人材育成支援や海外マーケット調査を実施する他、KYOTO CMEX事業への協力を実施した。今年度は、フランス・香港等のコンテンツ市場の調査・分析について現地調査およびヒアリングを実施した。また、ローカライズ支援を目的とした映画字幕ワークショップや、クリエーター海外展開支援セミナーとして2015年11月に「海外映画祭マーケットへのアプローチ」2016年2月に「世界の映画・映像クリエーターはなぜ短編制作を重要視するのか?」を開催した。



ロケスポット京都

京都府 委託事業

京都府内市町村へのロケ誘致を促進すべく、府内の各市町村から収集したロケ地情報を一元化し、映画・映像製作者へ提供することを目的とした京都府内のロケ地情報のポータルサイト「ロケスポット京都」を運営。2015年2月には京都市内にて府内市町村関係者・撮影所・大学等を対象とした情報交換会を開催。奈良県立大学・地域創造学部、岡本健准教授

